



愛川ふれあいの村 今月の風景

2023年9月 自然のたより

朝晩めっきりと涼しく感じられるようになり、秋の訪れを感じさせます。秋の味覚といえばクリですが、今年はクリを狙って、サルの大群が村に押し寄せてきました。例年より頻度が高いので、山に食べ物が少ないのでしょうか？雨上がりには、村内いたるところで、色とりどりのキノコが顔を出しています。猛毒カエンタケも確認されました。季節の移ろいの中で、村の自然は様々な表情を見せ、我々を楽しませてくれます。（袖山）



4年ぶりのマヤラン



サトジガバチ



傷付くと色が出るイロガワリ



ヌメリイグチ



シロハツ



ニオイコベニタケ臭



ムラサキホコリ（カビ）



ヒマワリの種を食べるヤマガラ



モズの季節



希少なスミナガシ



ハラビロカマキリ



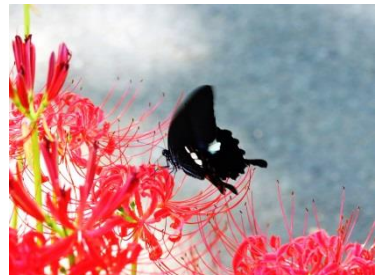
ミヤマアカネ



危険なオオスズメバチ



セミとキイロスズメバチ



モンキアゲハ

トピックス ★秋の山野草の魅力★

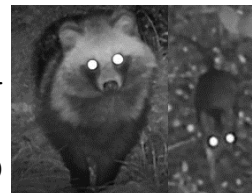
今は二十四節気の白露、夏の暑さも少しずつ収まりはじめ、草花に朝露がつくようになる頃とされています。観測史上まれにみる今年の暑さも、ここに来てようやく、秋の訪れが感じられるようになってきました。山道を歩くとひっそりと咲く山野草が見られます。これらの花もやって来た秋を感じさせてくれる季節の移ろいです。秋の山野草の魅力は何と言ってもその可憐さにあります。春や夏の花のように派手さは少ないが木陰に咲く、可憐な花は人の心にやすらぎを与えてくれます。何となく歩いていると、見過ごしてしまいそうな花ですが、ちょっと立ち止まり、眺めてみて下さい。わからない草花も、名前を検索するアプリが教えてくれます。その花の名前がわかると、一層、親近感がわき、愛おしさも生まれてきます。写真はブドウの香りのする、秋の七草の一つ、葛（クズ）、細い茎に小さい赤い花を咲かせる水引（ミズヒキ）。観賞用に江戸時代にやって来て、今は野生化し、たくさん咲いている白粉花（オシロイバナ）は黄色、白、赤、色変わりなどがあり、目を楽しませてくれます。最後は、盗人萩（ヌスビトハギ）です。名前の由来は、実の形が泥棒の足跡に似ているからというが、花が小さいピンク色の花だけに何とも可哀想な名前です。どれも公園やちょっとした山道でも見られる山野草です。お気に入りの花を探して見ましょう。（高梨）



生き物 ★秋のつながり★

秋には様々な美味しい食べ物が出てきます。銀杏は、身近だけれど秋だけの珍しいものだと思います。私は学生の頃、野生のタヌキの共同トイレを調査していました。秋になると、トイレには銀杏の種の部分がたくさん落ちていました。タヌキが糞と一緒に出した部分を人間は食べているけれど、タヌキは臭い実の部分を食べているのかと驚きました。さらに驚いたのは、タヌキのトイレにアカネズミがやって来て、その種の部分を咥えて持って行ったことです。ネズミはタヌキが消化できなかった銀杏を最後まで食べ、人間とネズミは同じ部分を食べることを知りました。

人間も含め、生きものたちは様々なところでつながって生きていますが、秋には秋の面白いつながりがあるようです。（石川）



旬 ★成分豊富カリンの活用★

「食欲の秋」とも言われるこの季節。村内には、おいしそうな食べ物がたくさん。その中でも、甘い香りの「カリン」を今回はご紹介。良い香りにつられてガブリといきたいところですが、カリンは繊維質で硬く渋みが強いので、残念ながら生食には向かず。カリンと聞いてパツと思いつくのが、のど飴。アミグダバリンという成分が、咳止め、痰に有効なので、カリンから成分を抽出して作りあげられています。また、硬い繊維も煮込みあげることによって、コンポートやジャムとして食べることもできます。不溶性食物繊維が働き、便秘予防、改善へとつなげることができます。硬い、渋いで終わらず、栄養をとれるか考え出した昔の人々はとてもすごいと感じさせられます。（佐々木）



来月の見どころ
キノコを楽しむ
生物の世界は、動物界と植物界に分けられています。現在数万種類と言われるキノコ類は菌界と呼ばれている。菌界は、5つのグループに分けられる①子のう菌類（チャワンタケやアマリガサタケなど）②キクラゲ類（キクラゲやツノマタタケ）③ヒダナシタケ類（ソウメンタケやサルノコシカケなど）④ハラタケ類（カラカサタケやメリイグチなど傘や柄がある）⑤腹菌類（ツチグリやチャダイゴケなど）などに分けられます。大きさや形はいろいろと変化がありますが、5つのグループのどの仲間か分けてみると意外にわかることが見えてきます。
左の写真は、クワの木の下に生えたナラタケと屋根の上のコケ類の中に生えたヒナノヒガサです。5つのグループのどこに所属するのでしょうか。暑い夏が過ぎやうと恵みの雨が降りました。九月の後半は雨マークも多いようです。みなでキノコの発生が期待できます。みんなでキノコを楽しみながら自然に親しみましょう。（吉田）